

『ふるさと甚目寺「かかわる」「つたえる」「つながる」

—人権教育を柱としたESDの取り組み—』

あま市立甚目寺小学校

## 1 目的

甚目寺小学校では、学校教育目標「善く生きる子」にせまるために、平成22年度からESDを取り入れた教育活動に取り組んでいます。本校では、ESDを持続可能な社会を築くための人づくりととらえ、人権教育を柱とし、人権教育の基本とされる「他人の人権を尊重する意識を磨くこと」「コミュニケーションの能力を高めること」「自己肯定感を高めること」という要素を盛り込み、『ふるさと甚目寺—「かかわる」「つたえる」「つながる」—』をテーマに、人と人とのつながり、人と地域とのつながりを大切に教育活動を進めています。

## 2 内容

### (1) 人とつながる活動

#### ア 人間関係づくりのための体験的活動

人とのつながりを深めるため、異学年・ペア学年を中心とした交流活動を行っています。また、自分の気持ちの伝え方を学び、人と接する態度の向上を図るためのハッピートークトレーニング、自分の意見や気持ちをその場にふさわしい表現でできるようにし、相手との良好な関係を築くためのアサーショントレーニングにも取り組んでいます。このような取組により、自尊感情が高まったり、相手のことを思いやった表現ができたりするなど、自分も相手も大切にすることができる子どもたちを育てています。また、QU調査を実施し、子どもの学校生活の様子を確認することで、教育相談に役立てています。



【5年生による3年生への読み聞かせ】

#### イ 甚小まつりの活動

甚小まつりは、本校で20年以上続いており、子どもたちが楽しみにしている行事の一つです。学級ごとにお店を出し、全校でふれあいながら楽しくお店をめぐるっています。保護者の方もたくさん参加され、子どもたちは、多くの人とふれあい、交流を深めることができました。

#### ウ エコキャップアート活動

児童会では、ペットボトルキャップとアルミ缶回収運動を行っています。その集めたペットボトルキャップを使って、各学年目標をもとにした学年オリジナルマークデザインを募集し、各学年でキャップアートを制作しています。学年目標についてみんなで考えるよい機会になっています。



【エコキャップアート披露式】

#### エ 心を育てる活動

11月に、児童文学「波の会」のみなさんをお迎えして、ストーリーテリングをしていただきました。この活動は甚小ブックママさんと連携して行っており、学年に応じたお話を厳選し、語りかけていただいています。お話の世界に引き込まれ、豊かな時間を過ごすことができました。

## (2) 地域とつながる活動（総合学習）

甚目寺小学校では、総合的な学習の時間を中心に各教科・道徳・特別活動などと関連づけながら、地域を舞台に学習を進めています。各学年、地域の様々な方と交流し、出前授業を受けたり、学んだことを発信したりする活動を行っています。

11月には学習のまとめとして、「総合学習発表会」を開催し、自分たちが学んだことを、お世話になった地域の方や家族に発表しました。どの学年も自分たちの思いが伝わるように工夫し、充実した発表会となりました。



【6年 甚目寺観音取材】

## (3) 世界とつながる活動

### ア エコキャップ運動

エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップを集め、リサイクルすることにより、発展途上国の子どもたちにワクチンを贈る運動です。児童会を中心に活動を進めています。

### イ 世界寺子屋運動

ユネスコスクールへの加盟を機に、ユネスコが進めている世界寺子屋運動に参加しています。みんなに世界の現状を知らせたり、書き損じはがき等や募金を集めて協会へ贈り、教育施設の建設や運営に役立てたりしています。

### ウ ユネスコスクールの交流

昨年度から同じユネスコスクールに登録している岐阜県養老町の広幡小学校との交流を行っています。本年度は実際に児童代表が広幡小学校に出向き、互いの活動を紹介し合いました。他校の取組を知ることで、さらに地域を見直したり今後の活動に見通しをもったりする機会になりました。

## 3 評価

- (1) 本物を体験させる機会を多くすることによって、子どもたちはすばらしい発見や気づきをするようになりました。この発見や気づきは、学習する対象への興味・関心をさらに高め、自ら学んだり行動したりする子どもたちが増えてきました。
- (2) 人の「思い」を大切にし、地域に関した様々な取組をすることにより、人と人とのつながり、人と地域とのつながりを意識するようになり、地域への愛着が深まってきています。
- (3) 3年生以上の児童にアンケート調査を行った結果、「思う」「少し思う」子どもたちの割合が、「甚目寺をすばらしい町、よい町だと思いますか」の問いには9割以上  
「甚目寺を自分のふるさととして大切にしたいと思いますか」の問いには9割以上  
「甚目寺の現在や未来のために何か考えたり行動したりしたいと思いますか」の問いには8割以上と、本年度もよい結果を得られました。

## 4 課題

子どもたちが、多くの方に支えられながら育っていることを意識し、自らも地域のために、さらには社会のために行動することができる大人へと成長することができるよう、なおいっそう様々なつながりを深めながら、教育活動を進めていきたいと考えます。